

| | |
|-------------|---|
| 近畿建設リサイクル表彰 | 会 長 賞 |
| 受 賞 者 | 株式会社 香山組 国道2号玉津大橋他橋梁耐震補強工事 |
| 所 在 地 | 兵庫県 尼崎市 |
| 受 賞 テ ー マ | 河川内の橋脚耐震補強工事での「建設副産物の廃止と環境保全を目的」とした仮設工の設計施工への工夫 |

【取組概要】

国道2号線にある玉江橋の橋梁補強耐震工事において、当初大型土嚢を用いた仮設を実施予定のところ、河川管理者等との協議により水位を低下させ、単管を用いた仮設工の設計・施工を実現し、発生土の搬出を抑制（547m³（100%））しました。

① 建設発生土・廃プラスチックの発生抑制

工事の設計等、各段階において「建設廃棄物の削減・地域環境保全」を心掛けており、特に建設副産物等の発生抑制について検討を行い、提案することを基本としています。

当工事の床下川は「蘇る水100選」を受賞し、地域住民の憩いの場となっているほか、商工会議所を中心とした床下川ラブリバー委員会が設置され、鯉の生息を保全する等、親水地域でした。このような河川において大型土嚢による仮設は、水質汚濁の懸念（ヘドロの浮遊等）がありました。

また、玉江橋は通行量52,000台/日の幹線道路であり、大型土嚢の搬入には交通規制が必要になり、一般交通への影響も考えられました。

そこで、床下川の当該地域は下流の臨海部に排水機場を設けており、池のような状態になっていることに着目し、河川管理者等と水位を下げるのができないか、協議を行いました。その結果、河川管理者、排水機場管理者、床下川ラブリバー委員会から水位を下げることに對して協力を得ることができたため、単管による仮設を計画し、施工することで、当初大型土嚢で必要とした574m³の購入土及び建設発生土、土嚢袋であるプラスチック1,380kgの発生を抑制することができました。

【評価】

地域環境を考慮したうえで、建設廃棄物の削減方法を検討、積極的に関係者と協議をはかり、建設発生土の発生抑制を実現したことが優れた取組として評価できる。

